

独自開発のウイルス医薬 鹿大病院 膵がんで治験

鹿児島大学病院は30日、がん治療薬として独自に開発を進めている腫瘍溶解性ウイルス

「サバイビン反応性m-CRA-1」を用いた膵がんの医師主導治験を開始したと発表し

